

今後の主要

安全・安心な教育環境の充実に図る

亀嵩小学校校舎・屋内運動場改築

亀嵩小学校は、昭和30年に教室棟、昭和38年に屋内運動場、平成元年には特別教室棟が建設されました。

特に、教室棟は建築後半世紀以上が経過し、平成18年度に行われた耐力度調査では、早急な改築が必要と指摘されました。

町では平成21年度から平成22年度までの2ヵ年計画で校舎並びに屋内運動場を県内のモデルとなる木造建築として改築し、町内産木材を使用する予定です。



改築が待たれる亀嵩小学校

<改築日程(予定)>

	H21.6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H22.1月	2月	3月	5月	H23.1月	2月
校舎								引越し	既設校舎(解体)	敷地造成	着工	引越し	新校舎使用
仮設校舎(議会工程)							工事着工	引越し					解体
体育館(議会工程)							既設体育館(敷地造成)	工事着工					完成予定

三成市街地・景観街路灯の整備

三成市街地の街路灯は、老朽化による腐食が目立ち、照明が暗く、近年の人口減少、町外への顧客の流出などが拍車をかけ、更新が急がれていました。

町では老朽化した町設置の三成街路灯を省エネ型の発光ダイオード(約140基)の新しい街路灯に付替え、市街地全体を魅力的な空間となるよう整備を進めます。

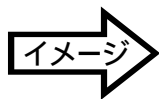
また、地域住民、商店と一体になり、三成商店街の活性化に向けた取り組みとして、昨年度から3ヵ年計画で店舗の改築、改装に対し補助制度を創設し、商店の改修補助も行っています。



現在の中心商店街の街灯



三成駅前の発光ダイオード



新しい街路灯
(発光ダイオード使用)

事業について

観光客の誘致に期待

国の指定名勝・天然記念物 鬼の舌震 景観保全について

「鬼の舌震」は、巨岩・奇石が約2^{km}にわたり続く、自然美あふれる大峡谷で、国指定名勝及び天然記念物に指定されています。

これまで、県道玉湯・吾妻山線の改良工事、上流部の1.2km区間の遊歩道(バリアフリー)整備を行い、年間約10万人の観光客が訪れる、奥出雲町屈指の観光スポットとなりました。

しかし、昭和2年に国の名勝及び天然記念物に指定されて以来約80年が経過し、現在では、枝葉の除去や景観を損ねる樹木の適度な伐採を施すことができず、指定当時の素晴らしい景観を保てない状況にあります。

今後、この「鬼の舌震」を町の宝として、後世に継承するため、「鬼の舌震・保存管理計画」を文化庁の指導を受けながら作成しています。

今後は、平成13年に上流部に設置したバリアフリー遊歩道を下流部まで延長(800m)し、さらに対岸の宇根駐車場へつなげる吊り橋の設置を計画しています。

この遊歩道が設置されると、下流部から玉日女橋までの急な遊歩道を利用しないで、奇岩、巨石のある渓谷部まで散策が可能となります。

これらの整備により、本町への観光客は、大幅な増加が見込まれます。

<今後の整備予定>

上流部に設置された、バリアフリー遊歩道を下流部まで延長(800m)

- 吊り橋(長さ160m、高度42m)の設置
- 老朽化した休憩所を撤去し、新たに休憩所・トイレを設置
- 倒木、竹、笹などを伐採・搬送し、修景整備
- 舌震流域全体の用地を町が取得公有化

<参考>

全国の主な吊橋入込み数

○綾の照葉大吊橋(宮崎県)
吊り橋250m、高度142m
見学者 100万人/年

○九重夢の大吊橋(大分県)
吊り橋390m、高度173m
見学者 200万人/年

「鬼の舌震」景観保全計画図

